



“ほっと” ギャラリー 展示作品のご案内 ＜ 5 月 ＞



★「第21回武四郎まつり」写真展のご案内

三雲地域振興局の「“ほっと” ギャラリー」では、今年2月28日（日）に開催された「第21回武四郎まつり」の写真を中心に、まつり前日にアイヌ古式舞踊体験などが行われた、武四郎まつりプレイベント「アイヌ文化体験交流会」の写真を合わせて展示しています。三雲地域振興局へお越しの際には、ぜひご覧ください。

◎展示期間 平成28年5月10日（火）～5月30日（月）
午前8時30分～午後5時15分まで

◎展示場所 松阪市曾原町 872 番地
三雲地域振興局「“ほっと” ギャラリー」



武四郎まつりは、幕末に6度も北海道の探検を行い「北海道の名付け親」となった三重県を代表する偉人「松浦武四郎」の偉大な功績や人間性、さらには松阪市の良さを再発見していただき、特色ある個性豊かなまちづくりと心豊かな人づくり、そしてさらなる地域振興を目指して、平成8年以来毎年2月に開催されています。

「第21回 武四郎まつり」は、今年2月28日（日）に、松浦武四郎記念館にて開催されました。「白糠（しらぬか）アイヌ文化保存会」の皆さんによるアイヌ古式舞踊や、小野江小学校児童による群読と寸劇などが披露されたほか、アイヌ文化体験コーナー、北海道の物産展や食生活改善推進協議会三雲グループ考案の「武四郎鍋」をはじめとした地域の物産展、「松浦武四郎記念館」の無料開放や武四郎が学問を学んだ「真覚寺」の特別公開などの催しが行われ、約5,500人の来場者に武四郎に触れていただきました。

武四郎まつりプレイベント「アイヌ文化体験交流会」は、武四郎まつり前日の2月27日（土）にハートフルみくもにて開催され、小学生や親子連れ約100人が参加しました。参加者全員でクイズやパズルを楽しんだあと、武四郎まつりに出演していただいた「白糠（しらぬか）アイヌ文化保存会」の皆さんによるアイヌ古式舞踊と民族楽器“ムックリ”の演奏の披露、アイヌ古式舞踊やアイヌの子ども遊びの体験などがあり、日ごろできない体験をすることで、参加者の皆さんはアイヌ文化に親しみました。

ぜひご覧ください。